

## 知床海と森の学校「森の教室」

### ～ ドングリ調査・シカの防護ネット巻きとサケマス遡上観察会 ～

10月16日（土）朝から小雨の降る中、森の教室が行われました。

まずウトロ高原で、樹木のシカ防護ネット巻きを森林センターの方々にやり方を教わりながら行いました。このあたりはイチイの遺伝子保護林ですが、シカに樹皮を食われてしまい、立ち枯れの危機に瀕しています。子供たちは5グループに分かれ、それぞれ樹皮を保護するためにイチイの根元にネットを巻いて行きます。作業の合間には、森の中でシカの頭骨などを見つけてきて、体のどの部分が熱心に聞いている子や、作業中にも石化した骨のようなものを発見して学芸員や森林センターの人に質問している子もいて、本当に森の教室だなあと思いました。



幌別川でサケマス観察中！



シカ防護ネット巻き作業中

自然センターで昼食を取った後、岩尾別川の左岸でドングリトラップの調査をする予定でしたが、たまたま岩尾別川にヒグマの親子が2頭出没しサケを取っていたので、ドングリ調査は出来ませんでした。が、野生のヒグマを見たのは初めてという子も多く、「すごい！」「でっかい」など歓声が上がっていました。

その後、幌別川でサケマスの遡上観察会。多数のカラフトマスやサケが産卵するために一生懸命川を上って行くのを間近に見て、サケのたくましさや生命力に感動していました。あいにくの天候でしたが、盛りたくさんの内容で大満足の日でした。

## 天体講座「部分日食を見よう」～10月14日（木）

この日は雲一つない晴天で、日食を見るには絶好の日でした。天体望遠鏡に取り付けられた太陽投影板に映し出された太陽は10時30分頃から太陽の上部から欠け始め、11時40分頃日食最大40%程になりました。生きがい大学の学生さんたち20名も参加して、このようすを観測し久々の日食に感動していました。また木漏れ日に映し出された太陽の姿が日食同様になっていることを興味深げに観察していました。今度日本で見られる部分日食は2007年3月と言うことです。

今回記事を書いたのは、10月から研修中の後藤ひとみさんです。北見で中学校の教師をされていますが、以前から博物館の仕事に興味があり、念願になって研修しています。学芸員とともに、さまざまな講座に参加しての感想を記事にいただきました。



この時期、落ち葉の絨毯を踏みしめると、カサカサと耳がくすぐったくなるような感覚がします。いま、博物館のまわりでは木の実や果実などたくさんなっています。この季節、動物たちは喜んで走り回っていますよ。

発行 斜里町立知床博物館協力会 2004.10.20  
099-4113  
北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内  
TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257  
<http://www5.ocn.ne.jp/~museumsp/>